

市測協だより

(第50号)

平成29年1月発行

一般社団法人福岡市設計測量業協会

福岡市中央区薬院1丁目6番16号
〒810-0022 百田興産ビル201号
TEL (092) 751-8246
FAX (092) 751-2271

URL <http://f-shisokukyo.or.jp>

E-mail: info@f-shisokukyo.or.jp

福岡市住宅都市局長 光山裕朗



新年あけましておめでとうございます。

福岡市設計測量業協会の会員の皆様におかれましては、

輝かしい新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃から設計測量業を通じ、本市のまちづくりの推進に多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

とりわけ、住宅都市局では、土地区画整理事業、公園整備事業、地籍調査事業など、設計測量と密接に関連した多くの事業を手掛けており、貴協会会員の皆様の、日頃の技術の研鑽及び啓発への取組みによりまして、事業の円滑な推進が図られておりますことに、改めて深く感謝申し上げます。

さて、福岡市におきましては、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」をめざし、「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環を創り出すという都市経営の基本戦略のもと、福岡市を次のステージに飛躍させるチャレンジ「FUKUOKA NEXT」を進めているところです。

「都市の成長」につながる重要プロジェクトとして、天神ビッグバン、ウォーターフロントネクスト、九州大学箱崎キャンパスや青果市場の跡地のまちづくりなどを着実に推進する一方で、昨年4月に発生した熊本地震や、やがて到来する超高齢社会への対応なども踏まえ、市民の方々が心豊かに安心して暮らすことができるよう、建築物の耐震化、放置空き家対策、生活交通の支援など、「生活の質の向上」にも鋭意取り組んでいるところです。

福岡市設計測量業協会の会員の皆様におかれましては、今後とも本市のまちづくりの推進のため、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心より祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

博多港・コンベンション施設ゾーン 提供：福岡市

一般社団法人福岡市設計測量業協会(市測協)会員はふくおかを愛し、ふくおかの発展に全力をつくします。

新年のごあいさつ

一般社団法人 福岡市設計測量業協会
会長 尾川 昇



新年あけましておめでとうございます。

新年を迎えるにあたり会員の皆様には、日頃から当協会の運営にご理解を賜り、執行部といたしまして厚く御礼申し上げますとともに、本年も幸多かれとご祈念申し上げます。

当協会では、昨年、行政の方々と福岡市民の皆様、当協会の活動の「見える化」を図るため、飲酒運転の撲滅キャンペーンへの参画、福岡市街地内の道路瑕疵調査を行いました。

道路瑕疵調査は市街地全域を平成26年より3年かけて行い、その報告書は本庁と、各区役所の地域整備部長に提出いたしました。

なお、今年からは、新たに市街地全域を3ブロックに分けて、向こう3年間で行うことを予定しています。その節は、会員の皆様を始めとします賛助会員の皆様にも前年同様に、よろしく願い申し上げます。

さて、平成17年の福岡県西方沖地震では、警固断層のズレによる甚大な被害を及ぼしました。

昨年は、熊本県・大分県で、M7級が2度連続で発生し、中国地方や福島県沖でも地震が発生しています。まさに日本列島地震活動期を思わせます。

このような状況のなかで、大震災の復旧・復興には国土調査完了が必須かと思えます。

さらに、福岡市における国土調査の促進化を図るために、当協会の測量部(若手の幹部)が主体となり、警固断層、宇美断層の一部を仮区域として、昨年の予算の倍増(昨年は2,000万円)や人材の増員をとりまとめ、当協会の推薦議員を通じるなどして行政当局に提案いたしました。

また、昨年11月、博多駅地下鉄工事における道路陥没に際し、駅周辺の動態調査の要請を受け、迅速な対応に貢献できたことから福岡市長より感謝状の贈呈を受けました。福澤防災委員長のもとで策定した防災支援活動組織の順に照らして対応出来たことは頼もしい限りです。

さて、当協会が政策要望として地場企業の、とりわけ、協会員のアドバンテージ付与(棲み分け)は、もっとも重要な案件であります。そこで当協会のみならず、地場ゼネコン、地場コンクリート協会等のコラボレーション等も視野に入れながら、さらには、行政サイドとの対応も熟慮した連携策の検討が必要となります。いずれにしても、慎重に事を進めたいと思います。

最後になりますが、当協会は地場企業として、これからも住民の安心・安全の環境づくりに寄与し、それぞれの会員が一体となって「住みやすい街ふくおか」を創造したいと思います。



博多駅前2丁目交差点付近における道路陥没事故

平成28年11月8日の早朝5時15分頃、博多区博多駅前2丁目交差点付近において、地下鉄七隈線延伸工事に伴う道路陥没事故が発生しました。□

映像に映し出された巨大な陥没を目の当たりにして、身震いがしましたが、人身事故が起こらなかったのは不幸中の幸いであったと思います。

即日、福岡市より、「防災支援活動に関する基本協定書」に基づき、当協会へ事故現場付近の災害測量要請があり、陥没事故周辺の動態調査を行いました。

福岡市の素早い対応と、連日連夜の復旧工事に携われた方々により刻一刻と現場道路が埋め戻され、1週間後には通行可能となりました。

11月28日「地下鉄七隈線延伸工事に伴う道路陥没事故復旧作業に対する感謝状贈呈式」が行われ、復旧作業に貢献した関係企業110社とともに、当協会からは尾川会長が出席し、福岡市長より感謝状が贈られました。

当協会では、これからも道路瑕疵調査等で福岡市へ協力していきたいと思っております。



▲ 福岡市長のご挨拶



▲ 福岡市長より感謝状が贈られた

平成28年度技術講習会

10月12日、春日市のクローバープラザにて、平成28年度技術講習会を開催しました。

福岡市道路下水道局下水道事業調整課 宇佐美技術係長から、平成28年熊本地震で損壊した排水設備等の下水道施設の復旧に向けた被災概要支援内容についての説明を受け、次々と映し出される画像に改めて被害の大きさに震撼を覚え、一刻も早い復旧を願わずにはいられなかった。

講習会参加者からは、福岡市域の「警固断層」「宇美断層」の内陸直下型地震時での体制強化の礎となり、また、基準点測量の標高観測や、道路法面の斜面防災工法の施工事例等、土砂災害復旧等に関する様々な対策工を学ぶことが出来たとの意見が寄せられた。

なお、防災委員会からは、道路危険箇所調査に対するお礼がなされた後、災害演習を3月に行うことが発表されました。



▲ 熱心に聞き入る参加者

講習内容

- | | |
|---|----------|
| I 「平成28年熊本地震に伴う下水道支援について」
福岡市道路下水道局計画部下水道事業調整課技術係長 | 宇佐美 純一 氏 |
| II 「スマートサーベイプロジェクト」・「作業規程準則の改正等について」
(公社)日本測量協会九州支部技術センター長 | 西村 千行 氏 |
| III 「斜面安定化工法について」・「既設盛土の排水対策工について」
日鐵住金建材(株)九州支店 土木営業室 | 筒井 智照 氏 |
| IV 「土地実地調査書について」
(一社)福岡市設計測量業協会 測量委員会 | 村田 嘉文 |
| V 「災害支援活動について」
(一社)福岡市設計測量業協会 防災委員長 | 福澤 一博 |



▲ 熊本の復興を応援します
写真：福岡市講習会資料より抜粋

福岡市との意見交換会開催

12月6日、中央区天神スカイホールにおいて、平成28年度福岡市との意見交換会を開催しました。

福岡市担当部局から22名方の出席を頂き、尾川会長より意見交換会への参加に対して謝辞をのべたあと、財政局の仁田原技術監理課長より陥没事故に対する測量の迅速な対応のお礼と、建設業を取り巻く厳しい状況の課題等について迅速に取り組んでいくことを述べられた。□

なお、詳細については、後日当協会HPに掲載いたします。



▲ 福岡市との意見交換会 活発な意見が交わされた

測量の日記念イベント「あそこまでなんぼ」

6月3日、天神中央公園において、測量の日記念行事『あそこまでなんぼ』を開催しました。

平成9年より開催し第20回となる今回は、来賓として、国土地理院九州地方測量部長飯塚豊久様、福岡市財政局理事三角正文様、(一社)福岡県測量設計コンサルタント協会会長横山巖様の方々をお招きし盛大に行われました。

また、授業の一環として参加した福岡国土建設専門学校の生徒のみなさんには、恒例となった距離あて(歩測)・面積あて・高さあて等のクイズに挑戦して頂きました。

今回も、保育園の園児たちによる可愛い参加もあり、晴天のもとでの楽しい測量の日記念イベントとなりました。



▲ ドローンに触れる体験



▲ 回答の入力ありがとうございます



▲ 歩測に園児さん達も挑戦しました



▲ あそこまでなんぼ1位入賞者

道路管理瑕疵に関する情報提供

当協会では28年度の取組みとして、「防災支援活動に関する基本協定書」を基盤に、「見える化」を図るため、一昨年度から実施した「飲酒運転の撲滅」、「市内道路における危険箇所の調査」等を引き続き社会貢献活動として継続し、政策要望として地場企業としての棲み分けなど山積する課題の解決に向けた活動を行っております。

今回は、前年度の西区を中心とした範囲を東区に拡大し、会員・賛助会員の各社で「市内道路における危険箇所の調査」を行い、延べ94社で1,193箇所の調査報告を頂戴いたしました。

会員の皆様方には業務多忙のなか、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

なお、平成28年7月13日、この調査結果は、福岡市道路下水道局道路維持課及び各区役所地域整備部へ、道路等損傷の調査箇所を成果一覧として提出いたしました。

さらに、道路瑕疵調査も今年度で3年目を迎え、協会員協力の下、この3年間で市内233.3km²を調査いたしました。調査面積は、福岡市全体の68%となっており、危険調査の累計は、2,391箇所となっております。

この調査を通じて、市民の安全、安心に貢献していきたいと思っておりますので、今後とも会員皆様方のご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【防災委員会】

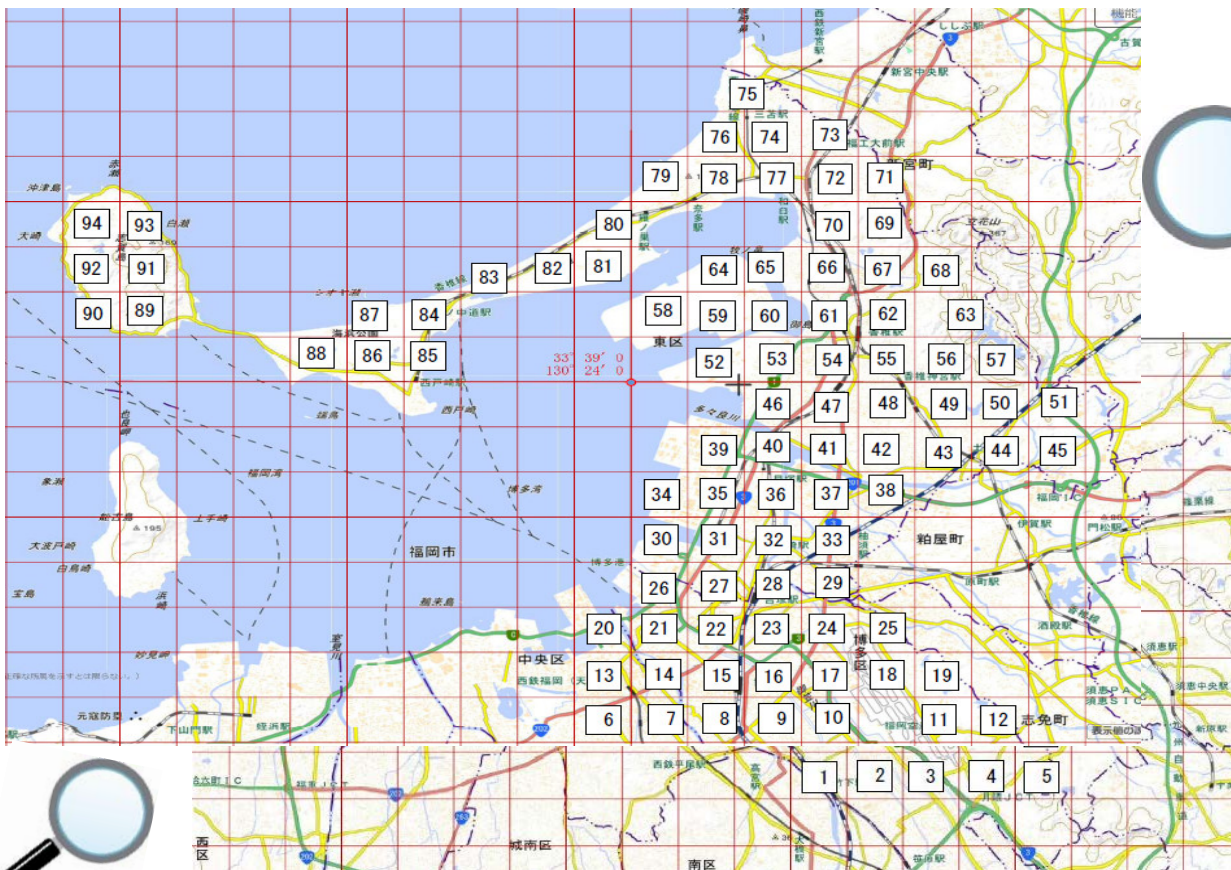
調査箇所一覧

調査日平成28年4月8日～6月24日

	東区	博多区	中央区	計
舗装の穴、陥没	107	75	8	190
舗装の破損、剥がれ	233	230	9	472
蓋の破損、ズレ	109	36	0	145
防護柵の破損	54	14	0	68
カーブミラーの破損	6	6	2	14
その他	157	137	10	304
破損箇所件数	666	498	29	1193



▲ 縁石の剥がれ



▲ 28年度道路管理瑕疵調査範囲箇所

UAV (ドローン) を用いた測量

福井コンピュータ株式会社 九州営業所

平成28年3月30日に国土地理院より「UAVを用いた公共測量マニュアル(案)」が公表されました。本マニュアルでは、「UAVを用いた空中写真測量」と「UAVを用いた空中写真による三次元点群測量」に大別されます。

この中で、新技術としてフォーカスされているのが「UAVを用いた空中写真による三次元点群測量」です。

従来はレーザースキャナー等を利用して作成していた三次元点群データですが、SfM (Structure From Motion) 技術の導入により測量においても写真から三次元の地形データ (点群モデル・サーフェスモデル) を作成することが可能になりました。

この技術では、従来の測量手法に比べ、観測時間や人的コストが飛躍的に向上することが期待されています。

この新しい取り組みの背景には、国土交通省が推進する「i-Construction」がキーワードになっており、主に土工工事で三次元データの活用が推進されております。

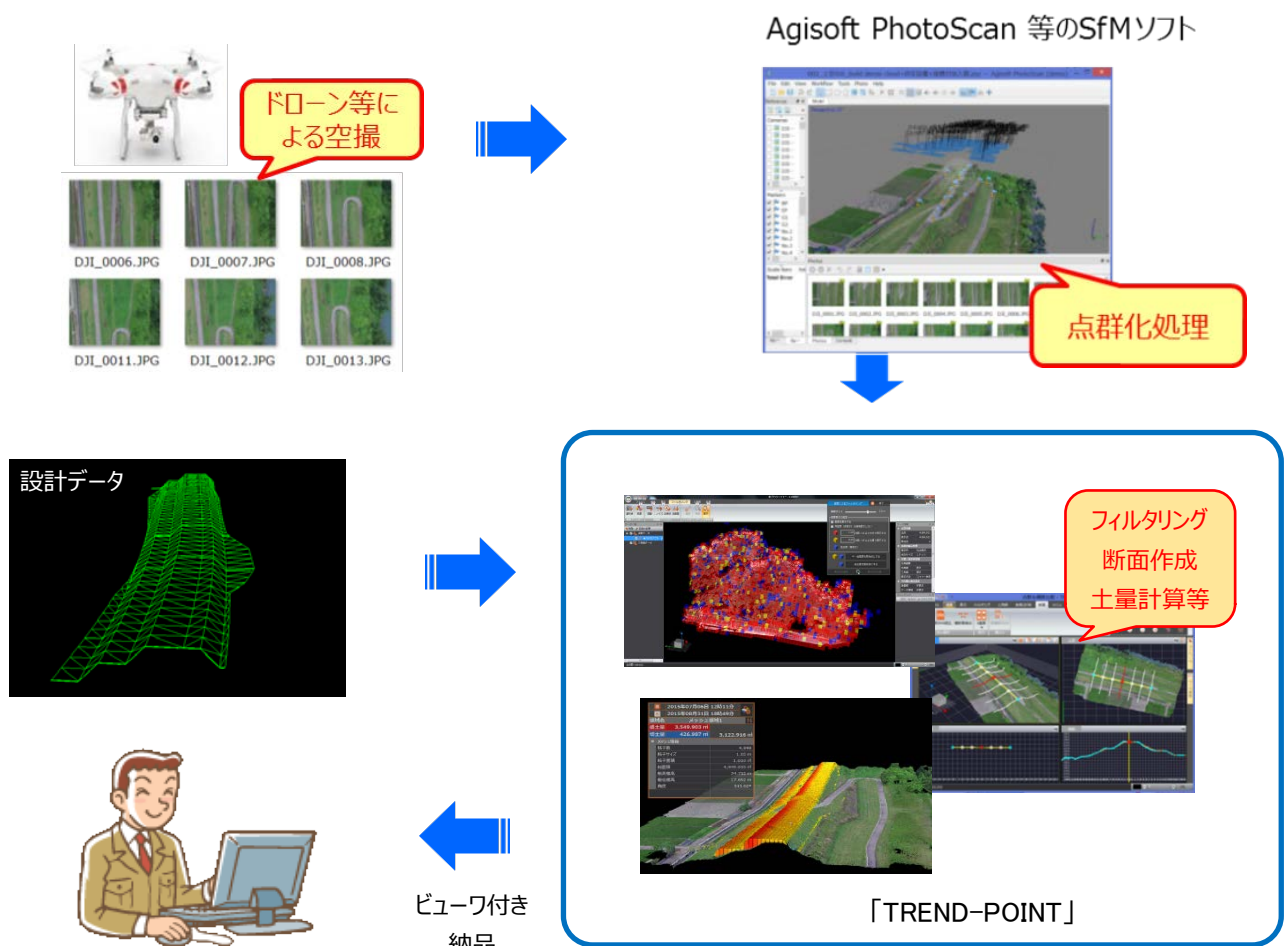
従来、トータルステーション等を利用して行っていた起工測量を、ドローン等を利用し三次元データを作成しようとするものです。

これらのデータは現況を確認するだけでなく、日々の進捗管理や検査にも利用されるデータになります。

現在は主に土木施工業を中心に進められている「i-Construction」ですが、すでに測量業務委託での発注も始まっており測量成果として三次元データの納品が求められています。



▲ UAV (ドローン)



福岡市技能功労者表彰

12月6日、中央区天神スカイホールにおいて、平成28年度福岡市技能功労者・技能優秀者の表彰式が開催され、高島福岡市長(代読：中園副市長)より、九州測量設計㈱の興梠博文氏(63歳)に表彰状が授与されました。

興梠氏は、永年、測量業務の研究に努め、技術の修得と技能の研鑽を積み重ね精励し続けてこられました。今後も、豊富な知識をもとに、更なる活躍と後進の指導にあたって頂きたいと思います。

この度、当協会のご推薦を賜り、福岡市より平成28年度福岡市技能功労者表彰を拝受いたしましたことに深く感謝を申し上げます。

数多くの諸先輩技術者がおられる中、私の様な若輩者が受賞することに心苦しい思いではありますが、当協会役員の方々によるご推薦をありがたくお受けすることとし、誠に有難うございました。

思い起こせば40数年前ゼネコンへの就職を希望し、1年間の就職浪人を決意し現在の会社へ測量の勉強がしたく、入社いたしました。

1年が経ち、ゼネコンより連絡があり会社を辞めて即ゼネコンへ…。との熱い思いは消えていました。

なぜか、たった1年の測量経験で、測量の面白さや魅力に取りつかれてしまい測量を一生の仕事として選びました。

当時は離島の現場が多く、日々大自然の中でサルやシカと共存し仕事をしていました。

また、ある現場では、誰も人類が足を踏み入れたことが無い様な素晴らしい奇跡の景色を目にし、この仕事をしていなかったら一生見れないものであり今でも脳裏に浮かびます。

現在、現場に足を運ぶことが無くなりましたが、様々な土地で様々な人々に会え、様々な絶景を見てこれたのも40数年前の判断が間違いでなかったとの証明だと思えます。

これからも小さな出会いを大切にし、担い手育成に努力をして行くことをお誓い申し上げて感謝の言葉といたします。

九州測量設計株式会社 興梠博文



▲ 受賞した興梠博文氏

福祉大会の開催

会員の福祉の向上と親睦をはかり、相互の交流と親交を深めるため、各種福祉大会を開催していますが、今年度は、4月14日におきた熊本地震に鑑み、翌日15日開催予定の第32回ソフトボール大会は取止めました。

なお、今回で36回目を迎えた恒例のボウリング大会は、11月11日11チームの参加で開催しました。

会場の西新パレスポウルでは、豪快に響くストライクの音と歓声に包まれ、昨年優勝の福岡ヤマックス㈱が二連覇を達成しました。

団体 優勝 □㈱福岡ヤマックス
準優勝 都市企画センター(株)
第3位 (有)国土調査事務所・メック(株)合同チーム

個人 優勝 □櫻本 晶 [メック(株)]
準優勝 西留広太郎 [日本乾溜工業(株)]
第3位 叶 信彦 [九州コンサルタント(株)]



▲優勝 ㈱福岡ヤマックス

設計部会 36社

(株)アジア建設コンサルタント	朝倉コンサルタント(株)	(株)旭建設コンサルタント	エコエンジニアリング(株)
(株)エム・ケー・コンサルタント	(株)エムテックエンジニアリング	(有) 鐘ヶ江設計	九州コンサルタント(株)
極水設計(株)	(株)クマガイ設計測量事務所	玄洋技術(株)	五光設計(株)
(株)サンコンサル	産業開発コンサルタント(株)	(有)シティ・シビル・コンサルタント	(株)昭和建設コンサルタント
(株)新世コンソーシアム	(株)スリーエヌ技術コンサルタント	(株)西部技術コンサルタント	(株)創造技術
ダン技術設計(株)	第一総合技術(株)	(株)大建	大正測量設計(株)
太洋建設コンサルタント(株)	(株)大陸総合コンサルタント	(株)拓研コンサルタント	(株)トキワ・シビル
(株)東洋技術コンサルタント	都市企画センター(株)	(株)都市計画設計事務所	(有)野田土木設計事務所
福岡建設コンサルタント(株)	(株)富士総合技術コンサルタント	(株)不動エンジニアリング	メック(株)

測量部会 37社

(株)アイエスプランニング	(株)アオイ	(株)アースプランニング	(株)イーディシー
井野測量設計	(株)浮羽技研	(株)エイティティ福岡	S.K.D測量事務所
栄和測量設計(株)	(株)ガイア	春日総合技術(株)	基洲測量(株)
共和航業コンサルタント(株)	(株)九州技術協力	九州測量設計(株)	(株)コンテック
(有)光陽測量設計	(有)国土調査事務所	三栄測量設計(株)	(株)ジオ
新日本測量設計(株)	(有)セイワ測量設計	(株)測栄舎	(株)タイセイ技建
(株)高田工務所	(株)大高開発	大光技術コンサルタント(株)	大樹測量設計(株)
(株)デヴァイス藤原	(株)豊田工務所	(株)中村測建	西技測量設計(株)
(株)プライム技術開発	福岡総合技術コンサルタント(株)	明和技研(株)	(株)優輝総合コンサル
芳野測量設計(株)			

賛助会員 19社

大野コンクリート(株)	(株)カクマル	(株)柏木興産本店	(株)九コン
(株)ジオテック技術士事務所	(株)シテイプラン	(株)実測	(株)ディーシー
日本乾溜工業(株)	日本地研(株)	日本ヒューム(株)福岡支社	福岡コンクリート製品協同組合
(株)福岡ヤマックス	福井コンピュータ(株)九州営業所	(株)松尾測機	松永測機(株)
(株)水上洋行	水谷建設工業(株)福岡支店	(株)ヤマウ	

お知らせ



【社名変更】

- 共和航業コンサルタント(株) 代表取締役 細川 昇二 (平成28年 5月)
〒811-1344 福岡市南区三宅3-1-28-3 Tel 555-9018 fax 555-9032

【住所変更】

- (株)プライム技術開発 代表取締役 江口 浩 (平成28年 4月)
〒812-0888 福岡市博多区板付2丁目1-2 Tel 292-7075 fax 292-7183

【代表者変更】

- (株)アジア建設コンサルタント 代表取締役 桑田 光幸 (平成28年10月)
- 新日本測量設計(株) 代表取締役 桑野 壮平 (平成28年 7月)
- 極水設計(株) 代表取締役 志多 充吉 (平成27年12月)